39	家屋	現況情報	階層	●		この項目は現況の構造等に印字する。 ※ただし、文字溢れが生じる場合、別表第一の機能ＩＤ0160058に則り文字溢れ対応を執り行うこと。	現況階層 「地上Z9 地下Z9」形式で編集	5	無	全角	9	−	○	−	9		
40	家屋	現況情報	建築年	●			建築年 例）令和３年	5	無	日付型	11	和暦	−	−	9		
41	家屋	現況情報	建築年月日		●	本項目を印字する場合は建築年項目は不要。	建築年月日 例 ″平成30年12月12日″	5	無	日付型	11	和暦	−	−	9		
42	家屋	現況情報	持分割合		●	印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	一般共有（課税分割含む）の持分割合	5	無	半角	29	−	−	−	9		「ZZZZZZZZZZZZZ9/ZZZZZZZZZZZZZ9」と表記（前ゼロなし）
43	家屋	現況情報	評価額	●		区分所有家屋である場合には、1棟全体の評価額が印字される。	評価額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
44	家屋	現況情報	区分所有家屋の専有部分ごとの評価相当額	●		区分所有家屋である場合に印字される項目。 タワーマンションである場合は、タワーマンション補正後の専有部分ごとの評価相当額が印字される。 印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	家屋評価額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
45	家屋	現況情報	区分所有家屋の専有部分ごとの評価相当額（補正前）		●	タワーマンション補正前の専有部分ごとの評価相当額。 印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	家屋評価額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
46	家屋		備考	●			家屋の備考	5	無	全角	60/2	−	○	−	9		
47	土地		非課税措置の類型		●	印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	非課税措置の理由 備考の１行目に編集する。 例）非課税（公共の用に供する用悪水路等 ） 8.25㎡	5	無	全角	20	−	−	−	−		
48	土地		非課税措置の適用を受ける地積（㎡）		●	印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	非課税措置の理由適用を受ける地積 備考の１行目に編集する。 例）非課税（公共の用に供する用悪水路等 ） 8.25㎡	5	無	数値型	8,2	−	−	−	−		
49	家屋		非課税措置の類型		●	印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	非課税措置の理由 備考の１行目に編集する。 例）非課税（公共の用に供する用悪水路等 ） 8.25㎡	5	無	全角	20	−	−	−	−		
50	家屋		非課税措置の適用を受ける床面積（㎡）		●	印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	非課税措置の理由適用を受ける床面積 備考の１行目に編集する。 例）非課税（公共の用に供する用悪水路等 ） 8.25㎡	5	無	数値型	8,2	−	−	−	−		
51	土地	固定資産税	課税標準額	●			課税標準額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
52	土地	固定資産税	相当税額	●			相当税額	5	無	数値型	11	−	−	−	9		
53	土地	都市計画税	課税標準額	●		都市計画税を課税していない団体は、斜線等を用いてその旨を示す。	課税標準額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
54	土地	都市計画税	相当税額	●		都市計画税を課税していない団体は、斜線等を用いてその旨を示す。	相当税額	5	無	数値型	11	−	−	−	9		
55	家屋	固定資産税	課税標準額	●			課税標準額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
56	家屋	固定資産税	区分所有家屋の専有部分ごとの課税標準相当額	●		区分所有家屋である場合に印字される項目。 タワーマンションである場合は、タワーマンション補正後の専有部分ごとの課税標準相当額が印字される。 印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	固定資産税 家屋課税標準額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
57	家屋	固定資産税	区分所有家屋の専有部分ごとの課税標準相当額（補正前）		●	タワーマンション補正前の専有部分ごとの課税標準相当額。 印字する場合は「資産ごとの備考欄」に印字する。	固定資産税 家屋課税標準額	5	無	数値型	13	−	−	−	9		
58	家屋	固定資産税	相当税額	●		区分所有家屋については区分所有家屋の専有部分ごとの相当税額が印字される。	相当税額	5	無	数値型	11	−	−	−	9		